

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	堺市立つぼみ園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	123	(回答者数) 111
○従業者評価実施期間	令和7年9月24日		～ 令和7年10月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 32
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種による連続した発達支援 (保育士、児童指導員、児童発達線管理責任者、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、管理栄養士など)	保育士・児童指導員以外の職種も給食介助などの業務を担い日常的にこどもの支援にあたっている。 あいすてーしょんや自主事業等を通して、相談から具体的な支援に繋ぐことができる。 利用終了後も同じ法人内の診療所や相談支援事業所と連携したり保育所等訪問支援に繋がったりする等し、途切れ目のない支援を意識している。	地域支援においても多職種がチームで支援を行う体制づくり
2	丁寧な保護者支援、家族支援 (家族同士のつながりづくり)	親子療育の積み重ねを大切に、日常の中でこどもの姿や課題を保護者と共有している。 発達や障害特性について学んでいただけるよう、保護者学習会を計画的に行っている。 保護者同士情報交換をしたり悩みの共有ができるよう、交流の機会を作っている。また、参観などの行事で、きょうだいなど他の家族にも交流してもらえる機会を作っている。	より多くの保護者への情報発信ができるようオンライン研修の充実。
3	同じクラス集団での保育を積み重ねることが、こどもたちの安心や友だちへの関心の育ちにつながっている。 こどもがのびのびと遊ぶことのできる環境(広い園庭等)や見通しの持てる園生活。	一人一人が生活に見通しを持って活動できるように、分かりやすい日課の積み重ねを大切にしている。 安心できる集団の中で、個々の興味関心にそった活動を大人や友だちと一緒に繰り返し取り組むことを大切にしている。 外遊びや全身活動に毎日取り組んでいる。	法人内外での実習や研修の実施により、職員一人一人の知識・資質の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	駅から遠い立地	通園バスの配車をしているが、利用対象となる地域が広い ため時間がかかり、利用者にとっての利便性が悪い。	バス配車については引き続き市と協議していく。
2	支援期間が決まっているクラスがあること	多くの市民にサービスを利用していただく、という堺市の意向による。	利用者の希望やニーズを踏まえ、市と協議していく。 法人内では、引き続き、利用後診療部門や相談部門につなげるよう取り組む。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 堺市立つほみ園（毎日通園クラス）

公表日 令和7年 10月 30日

利用児童数 58

回収数 49

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると思いますか	33	12	1	2	・教室がせまい。設備が古く危ない。 ・息子の教室はまじきりがあり、動き回りにくい。	・生活と遊びの空間づくりを工夫しながら、体を使ってしっかりと遊べる環境を整えている。
	2 職員の人数・配置は適切であると思いますか	35	3	9	1	・先生の負担は大きい。先生の数を増やしてほしい。 ・いつも手厚く保育等対応して下さって安心して子どもを預けることができているが、先生方の休憩などちゃんと時間がとれているのか、心配です。そういう意味で人員は足りているのか？ ・看護師の方を増やしてほしい。	・職員配置は堺市と協議の上で決まっているが、より丁寧な支援のための工夫をしていきたい。 ・定員を満たしていない職種があれば、人材確保に向けて努力していく。
	3 職員の専門性は十分感じ取ることができていますか	39	6	0	3	・よく見てくれています。 ・イメージではもっと専門性があると思ってました。（一人一人相手するのは大変だと思いますが）	・個別の支援内容について保護者と丁寧に確認していく。
	4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感じますか	43	5	0	0	・写真や音楽など工夫している。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	30	12	5	1	・トイレを新しくしてほしい ・先生の配慮で安全ではあるが設備は古い。 ・仕方がないことですが、建物の老朽化が気がかりです。	・施設の老朽化に対する改修を堺市と協議しながら進めていく。
	6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	38	5	5	0	・本やおもちゃなどポロポロ。保護者からの物品の寄付を受ければよいと思う。 ・もっとあっても良いと思う。数を増やしてほしい。	・子どもたちに合わせた遊具やおもちゃを充実できるよう、計画を立てて進めていく。
	7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感じますか	46	2	0	0		
	8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思いますか	45	3	0	0		
	9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感じますか	41	5	1	1	・先生の人数が少なく、なかなか沿った支援しにくいと思う。 ・まっと行われていると思う。	・子どもに関わる職員間で支援内容について丁寧に確認し、定期的なモニタリングを行っている。 ・個別の支援内容について保護者と丁寧に確認していく。
	10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思いますか	41	5	1	1	・毎日絵本を読んで下さり、好きになったが、みんで何かをしたり、もう少し活動を増やしてほしい。 ・ほとんどの活動プログラムが一人一人に合ったものに対応して下さっていますが、時々クラスの年下の子に合わせたレベルの保育で物足りなく感じるときがある。	・クラス間や職種間で情報共有し、より子ども一人一人に合わせた活動になるよう取り組んでいく。 ・保護者の意見も参考に、活動内容の充実を図る。
	11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると感じますか	47	1	0	0	・いつもありがとうございます。	
保 護 者 へ の 説 明 策	12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感じますか	36	10	1	1	・今年（去年）から少しあると思います。 ・そこまで交流は多くない。 ・もう少し増やしても良いかなと思います。	・地域のこども園との交流を年3回（年長児は4～5回）実施している。こども園との調整もあり回数を増やすことは難しいが、交流の様子を分かりやすく保護者に知らせていく。
	13 【並行通園の方のみにお聞きします。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感じますか						
	14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	44	2	0	3	・あまり記憶にない	・新入園の際は丁寧な説明を心がけている。継続利用の方への説明も丁寧にできるようにしていく。
	15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	49	0	0	0		
	16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感じますか	46	2	0	1	・もっとあっても良いと思う	・アンケート結果等をもとに保護者向けプログラムを充実させていく。
	17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると感じますか	45	3	1	0	・すごくよく見てくれています。 ・日頃から・・・は、無理ですね。バス通園ですから。	
	18 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感じますか	46	2	1	0	・たくさん話をきいてくださり、ありがたい。 ・ただ、大変だと思いますが、個人面談は増やしたいと思っています。	・定期的な個人面談に加えて、必要に応じて面談ができるよう、保護者にお声掛けをしています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19 親の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると思いますか	30	11	3	5	・先輩のお話を聞く機会がもっと増えたらうれし いです。 ・少ない	・先輩保護者との交流のほか、多様な保護者交流会 を実施していく。
	20 保護者からの相談や苦情に対するの申し入れについては、迅速かつ適切に 対応されていると思いますか	34	6	4	5		
	21 保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる。わかりやす い言葉を使うなど）がなされていると感じますか	46	0	0	3	・配慮はわからないが、「通じてないな」と感じ たことはない。	
	22 保護者に対して定期的なお便りや掲示物を通じて活動概要や行事予定をわ かりやすく伝えていてと感じますか	47	2	0	0	・いつも、わかりやすいです。	
	23 園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じで すか	31	3	8	7		
非常 時等 の 対 応	24 個人情報の取扱いに十分注意していると感じますか	43	1	0	4		
	25 園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周 知・徹底されていると感じますか	39	7	1	2	・クラスで同じような症状の子が2人以上出たとき は全体として連絡がほしい。	・今後も引き続き、流行状況等を確認しながら連絡 するように努めていく。
	26 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われ ていると感じますか	42	3	0	4	・見ていないので ・訓練が行われているのは知っているが、内容を わからない。どんなことをしているのか実際見 る・参加するというのをしてみてもいいかと。	・定期的に訓練を行っているので、保護者の希望が あれば参観していただく。
満 足 度	27 子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	46	2	0	1	・楽しそうに安心して預けています。 ・バスが来ることを楽しみに待ち、降園後もきげ んが良い。	
	28 園の活動や取り組みに満足されていますか	41	7	1	0	・基本的に満足していますが、例えば運動会など 時間制限がある行事のとき、あわただしく、もっ たいたく感じる時があります。 ・もっと個別でリハビリを増やしたらいいと思 います。	・職員会議や研修等を通して、活動内容の充実 に努めていく。
	29 懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。	49	0	0	0	・運動会でダンスをするとか、遠足とか行事を増 やしてほしい。 ・少し多い気もします。 ・毎月あります。	・親子登園の意義を感じていただけるよう に取り組んでいく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	堺市立つほみ園 (週1通園クラス)				公表日	令和7年 10月 30日			
				利用児童数	42		回収数	39	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると思いますか	36	1	0	0				
	2 職員の人数・配置は適切であると思いますか	35	0	1	1	・子の安全、母の相談、療育（あそび）の提供を考えると不足していると思います。	・親子で安心して療育に参加していただけるよう、環境設定や遊びの提供を工夫する。		
	3 職員の専門性は十分感じ取ることができていますか	33	2	1	1	・自分が知りたいことがズレてるのか知りたいことはなかった。	・保護者の方のニーズを確認し、ニーズに沿った情報提供を行う。どんなことでもご相談いただけるようお願いする。		
	4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感じますか	36	1	0	0				
適切な 支援の 提供	5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	35	0	1	1	・設備が古く、耐震などに不安があります。	・施設老朽化による改修を堺市と協議しながら進めていく。		
	6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	31	3	0	3				
	7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感じますか	35	0	0	2				
	8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思いますか	33	3	0	1				
	9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感じますか	28	7	0	2	・なにが苦手か知ることができました。			
	10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思いますか	29	5	1	2				
11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると感じますか	34	2	0	1	・母へのフィードバックもしています。	・保護者の方に丁寧にフィードバックすることを意識し、懇談の機会も活かして子どもの育ちや課題を共有していく。			
保護者 への 説明 等	12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感じますか	8	10	10	9				
	13 【並行通園の方のみにお聞きします。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感じますか	1	0	0	0	・幼稚園ではどうですか？とよく声かけて頂きました。直接、園とやりとりがあったかはわかりません。	・保護者の方の意向を確認しながら、必要に応じて在籍園との連携を進めていく。		
	14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	38	1	0	0				
	15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	37	1	0	1				
	16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感じますか	22	9	5	3	・先生たちの声かけの仕方は見えていて勉強になりました。			
	17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	32	4	1	2				
	18 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感じますか	36	1	1	1				
	19 親の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると思いますか	8	9	7	15				
	20 保護者からの相談や苦情に対しての申し入れについては、迅速かつ適切に対応されていると思いますか	24	4	0	11	・意見があったのかわかりません。ていねいに向き合ってもらえたと思います。			
21 保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる。わかりやすい言葉を使うなど）がなされていると感じますか	34	0	1	4					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	保護者に対して定期的なお便りや定時物を通じて活動概要や行事予定をわかりやすく伝えていると感じますか	38	0	0	1		
	23	園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じですか	17	4	14	4		
非常 時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分注意していると感じますか	35	1	0	3		
	25	園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周知・徹底されていると感じますか	32	5	0	2		
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	3	2	11		
満 足 度	27	子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	38	0	1	0	・ すごく楽しみにしています。 ・ 毎週すごく楽しみに通わせてもらっています。	
	28	園の活動や取り組みに満足されていますか	34	5	0	0	・ 「みんな来てるかなー」「今日何するかなー」と行き道にずっと話しています。	
	29	懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。	30	3	1	5		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 堺市立つほみ園（並行通園クラス）

公表日 令和7年 10月 30日

利用児童数 23

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分確保されていると思いますか	21	2	0	0		
	2 職員の数・配置は適切であると思いますか	19	2	1	1		
	3 職員の専門性は十分感じ取ることができていますか	22	1	0	0		
	4 園の生活の流れは、子どもたちにとってわかりやすいものになるように工夫がされていると感じますか	23	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 園では子どもたちが安全に心地よく過ごせる環境・設備が準備されていますか	21	2	0	0		
	6 遊具やおもちゃは子どもたちの発達や興味に合わせたものが準備されていますか	16	5	0	2		
	7 個別支援計画は子どもの課題や保護者の思いが適切に反映されていると感じますか	20	1	0	2		
	8 個別支援計画は子どもに必要な具体的な支援内容が記述されていると思いますか	21	1	0	1		
	9 日々の療育は個別支援計画に沿った支援が行われていると感じますか	18	2	0	3		
	10 日々の活動プログラムは、子どもの特性や課題等に応じて柔軟に対応されていると思いますか	21	1	0	1		
保護者 への 説明 等	11 職員は子どもの状況に応じて保護者とコミュニケーションをとっていると感じますか	23	0	0	0		
	12 保育園やこども園、幼稚園等との交流や地域の子どもたちと活動する機会があると感じますか	8	7	3	5		
	13 【並行通園の方のみにお聞きします。】 在籍園での生活を把握し支援につなげていると感じますか	13	5	0	4	・月に1、2回は少ないと思う。	・できるだけ多くの方にご利用いただけるような回数設定をしている。在籍園での様子を丁寧に把握した上で療育内容を工夫し、終了後の支援につながるような情報提供も充実させる。
	14 園の運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	23	0	0	0		
	15 個別支援計画の内容について、わかりやすく説明されましたか	22	1	0	0		
	16 保護者に対して研修や交流会など保護者向けプログラムが行われていると感じますか	16	5	0	2		
	17 職員とは日頃から子どもの状況を伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	21	1	0	1		
	18 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると感じますか	21	1	0	1		
	19 親の会活動やOB会の開催など、保護者同士の交流が支援されていると思いますか	8	7	1	7		
	20 保護者からの相談や苦情に対しての申し入れについては、迅速かつ適切に対応されていると思いますか	13	5	0	5		
21 保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮（ルビをふる。わかりやすい言葉を使うなど）がなされていると感じますか	21	0	0	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	22	保護者に対して定期的なお便りや定時物を通じて活動概要や行事予定をわかりやすく伝えていると感じますか	21	0	0	2		
	23	園の自己評価アンケート結果は、保護者へ公表されていることをご存じですか	11	0	9	3		
非常 時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分注意していると感じますか	21	0	0	2		
	25	園の感染症（コロナ対策）や緊急時の対応、園での防犯対策は保護者に周知・徹底されていると感じますか	18	2	0	3		
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3	1	12		
満 足 度	27	子どもは園に通うことを楽しみにされていますか	21	1	1	0		
	28	園の活動や取り組みに満足されていますか	21	1	0	1	・年長だがレベルがひくいと思う。	・机上活動では子どもに合わせて教材を数種類準備している。集団で取り組むゲーム等では物足りなさを感じる保護者の方の感想も丁寧に伺いながら、活動のねらいを丁寧に説明する。
	29	懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。	21	1	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		堺市立つほみ園		公表日		令和7年 10月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	31	0	生活と遊びの空間づくりを工夫し、定員に対して適切なスペースを確保している。	保育室パーテーションの修繕等、市と協議しながら順次進めていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	27	5	保育士、児童指導員を基準以上に配置している。社会福祉士や公認心理士等の専門資格を持つ者、看護師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等様々な職種を配置している。	事業の充実や拡大に合わせた人員配置を検討。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	9	パーテーション等で分かりやすい環境作りをしている。写真等を使い、活動内容等を分かりやすく伝えている。段差を無くしたり障害特性に応じた床（肢体不自由児の保育室にはマットを敷く等）等配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28	4	日々の清掃や消毒で清潔を保っている。活動内容に合わせて集会室や園庭等、様々な空間を活用している。施設及び設備の老朽化による改修を堺市と協議しながら進めている。	蓄積された汚れへの対応を検討。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	27	4	必要に応じて廊下や集会室等でこどもが安心して過ごせるよう、個別の配慮をしている。肢体不自由児は、午睡や休息に個別の部屋を使用することができる。	部屋や廊下の使い方について、クラス間調整等、臨機応変な工夫が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	31	1	人事評価を実施し、年度ごとに職員一人一人の業務目標設定と振り返りを行っている。自己評価については職種単位で行っている。	職員の業務内容や勤務時間が多岐に渡るため、全職員の参画については取り組み方の工夫が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	32	0	センター出入口やHP上にご意見箱を設置し、利用者アンケートや保護者会との懇談会を実施し、保護者の意向等を把握している。その中で把握した課題について、全職員で共有・検討し、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	32	0	職員が意見できる場として各職種会議や職員会議を実施している。また、業務面談で上司に意見を伝えたり相談できる機会を設け、主任会議や園長所長会でその内容の共有を図り業務改善につなげている。各種相談窓口を設けている(ハラスメント、産業医面談等)		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	32	0	第三者評価を受審している。評価結果をHPにて公表すると共に職員に周知し、業務改善につなげている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	32	0	職員研修および外部講師によるSVを行い、勤務時間や入職時期が違ってもVTRで視聴できるよう工夫している。外部研修への参加も計画的に行い、研修記録の供覧等で他の職員に伝達している。自主的な研修参加も推奨している。	業務の整理をしながら、研修の機会充実を図る。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	32	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	32	0	個々のこどもに対し丁寧なアセスメントを実施し、保護者のニーズをアンケート等で聞き取った上で計画作成のための会議を実施している。医師による診断や発達検査の結果も踏まえ、計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31	0	クラス会議の他、支援に関わる多職種でのケース検討会議を実施し、情報共有と支援内容の検討を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	31	0	週1回のクラス会議で、計画の共有と支援の確認を行っている。計画はケースファイルで管理し、子どもに関わる職員が確認できるようにしている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	32	0	毎日クラスでは希望に応じて年1回程度、その他のクラスも必要に応じて発達相談を行っている。標準化されたツールとして新版K式発達検査2020を実施している。担任を中心に多職種で日々の観察を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	32	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	31	1	クラス担任・教室担当がチームでの立案を行っている。また、保育者会議でクラス間の意見交換もしながら月ごとの活動プログラムを立案している。	南北こどもリハビリテーションセンター合同会議を通して、プログラムの一層の充実を図る。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	32	0	こどもたちの姿に合わせた工夫を行っている。定期的に取組のまとめを行い討議する中で、多職種の意見を取り入れ活動内容の充実を図っている。また、人事異動等でより多様な意見交流ができています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	32	0	個別・集団活動それぞれの視点を持って課題と取組を考え支援計画を作成している。活動内容によって集団の大きさを工夫している。併設している診療所で必要に応じて個別のリハビリを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	31	1	会議で療育のねらいや個々への支援内容を共有し、保護者対応も含めて役割分担をしている。日毎の確認は、ボード等に記入して関わる職員で共有できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	31	1	バス添乗や短時間勤務の職員もいるので必ず全員では難しいが、参加できる職員で日毎の振り返りや子どもの姿の共有を行っている。定期的なクラス会議や職種会議で共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	32	0	家庭連絡票に日々の様子を記録している。日々保育日誌に記録し、その日の振り返りを行うと共に改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	32	0	定期的にモニタリングを行い、6か月に1度支援計画の見直しを行っている。また、こどもや家庭状況の変化に応じて適時見直しを行っている。	
関係機関や保護者	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	32	0	クラス担任や児発管のほか、会議の内容によって適切な職種が参加することで、より丁寧な話し合いができるようにしている。各区の障害児支援等関係機関連絡会に児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	32	0	保健センター等関係機関との連携を常に行っている。診療所を通じ、医療機関との連携も行っている。相談支援事業、保育所等訪問支援事業および自立支援協議会への参画等を通して、地域と連携を図っている。	継続的な支援の充実に向け、引き続き関係機関と密に連携を図る。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	32	0	週1日親子クラスは並行利用を受け入れている。並行通園クラスでは在籍園訪問を行ったり、必要に応じて保護者の同意のもと情報共有を行っている。毎日クラスでは移行に向けての相談援助を行い、就園が決まった際は引継ぎ（会議開催や見学の受入）を行っている。退園後は、必要に応じて保育所等訪問支援および診療所での診察やリハビリ等で支援している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	32	0	学校体験に職員が同行するなど移行に向けた支援を行い、引継ぎ（会議開催や見学の受入）を実施している。必要に応じて訪問支援につなげている。市内の教員の見学を受け入れ、障害や支援内容への理解を進めている。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	31	0	各事業所や関係機関対象の施設見学会や研修（出前講座）、事業所交流会を開催している。また、地域の障害児通所支援事業所等への施設支援も実施している。		

との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	31	0	医療従事者等の内部講師による定期的な研修や外部講師によるスーパーバイズを実施している。職員は計画的に外部研修に参加している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	31	0	各区の障害児支援等関係機関連絡会や自立支援協議会子ども部会に参加し関係機関と情報を交流している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	32	0	年4～5回、地域のこども園とお互いの園を行き来して交流する場を設けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	32	0	親子保育の機会や個別のリハビリ場面で、こどもの発達状況や課題についての保護者と共通理解を持てるよう取り組んでいる。家庭連絡票や電話等でも日頃のこどもの状況について話ができるよう意識している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	31	0	各クラスの状況に合わせて家族支援プログラムの年間計画を立て、保護者に知らせている。内部及び外部講師による学習会や情報提供を一部オンラインで実施している。	多様なクラスに利用してもらえるようなオンライン学習会の充実。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	32	0	入園前説明会や利用契約時の重要事項説明時に重要事項説明書に基づき説明を行っている。療育のねらいについてオリエンテーション等で説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	32	0	初めてご利用の際は、こどもの観察や保護者の意向の聞き取りを丁寧に行っている。計画見直しの際は、事前にアンケートを実施し、意向を反映できるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	32	0	児童発達支援管理責任者による支援内容の説明を行い保護者の同意を得た後、より丁寧な確認を各クラス担任が行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	32	0	定期的に個人懇談を行う他、必要に応じて、進路や福祉サービス利用について、健康面や栄養に関すること等、適切な職種による面談と支援を行っている。診察やリハビリにおいても助言と支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	31	1	保護者会活動の支援を行っている。また、各クラス定期的に保護者交流の機会を作っている。毎日クラスでは、家族参加の行事の中で「きょうだい交流会」を実施予定。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	32	0	クラス担任以外に担当の児童発達支援管理責任者、苦情解決責任者及び苦情受付担当者等、多様な相談窓口を周知し、相談や申入れがあれば適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	29	3	事業団だよりを年2回発行。毎日クラスではクラスだよりや園だよりを月1回発行。HPやFBで給食や行事の様子等を、ICTシステムで保育の様子を知らせる等内容の充実を図っている。	SNSの更なる活用を検討。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	32	0	職員研修を行い、個人情報保護の重要性を職員に周知。個人情報を含む書類等の郵送や配布の際はマニュアルに沿って複数の職員でチェックしている。関係機関への個人情報提供、HP等での写真掲載について、保護者から文書により同意を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	32	0	視覚的に分かりやすいよう写真や絵カードを活用。書き言葉や話し言葉は分かりやすく簡潔な表現を意識している。外国籍の方にはルビをふる、通訳を依頼する等の工夫をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	31	1	感染対策等の理由から行事等に地域住民を招待することはしていないが、近隣の施設と協同し、地域に開かれたイベント(ファインエリアフェスティバル)に参画しているほか、地域の親子が利用できる園庭開放や土曜日クラブ・にじいろクラブを実施している。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	30	1	各マニュアルを策定し、訓練を実施しながら対応を職員に周知している。適時見直しもしている。保護者には重要事項説明の中で策定については知らせており、一部マニュアルについてはHPで公開し、FBで訓練の様子を知らせている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	32	0	BCPを策定し職員研修も実施。毎月の消防避難訓練に加え、地震訓練を定期的に実施。年1回の消防署立会訓練で助言指導を受けている。Web171及び災害伝言ダイヤルの体験を年1回行い保護者に周知している。	2次避難について等、詳細な対応について検討。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	32	0	入園前健診で、こどもの状況について確認している。緊急時対応指示は主治医の意見書を基に作成し、関わる職員全体で共有、必要に応じて更新している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	32	0	主治医の指示書に基づいて除去食を提供、情報を全職員で共有している。個別に保護者と除去内容を共有している。提供の際は食札等で複数名で確認し配膳間違いや誤食がないよう取り組んでいる。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	32	0	安全計画を作成し研修を行っている。日々及び毎月安全点検を行い、速やかな安全対策を行っている。感染症対策について、定期的にマニュアルの確認を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	32	0	安全点検や訓練の実施について重要事項説明で説明している。緊急時の保護者への連絡手段としてメール連絡を整備している。令和6年度からはICTシステムを導入。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	32	0	毎朝ミーティングで報告し、対応について職員で共有している。詳細を記載した記録の閲覧も行っている。集計を取り再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	32	0	虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	32	0	身体拘束適正化のための指針を策定している。やむを得ない身体拘束については保護者に説明の上同意書を提出いただいている。また、個別支援計画に記載し、保護者と確認している。		